

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ゆめの園みらいず川越 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～ 令和7年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和7年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況をご家族と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	ご利用日の引継ぎ時や半年に1度の家族面談で、利用時の様子を細かくお伝えしている。	面談時だけでなく日常の引継ぎの中でも学校やご家庭での様子を伺い、双方向のやり取りを大切にする。引継ぎ時に気になる行動等が浮き彫りになった際は、別に時間を設けて面談実施や必要に応じて関係機関との連携を図ることで解決に向けて取り組む。
2	ボランティア団体によるプログラム活動の提供、他施設のイベントへ出向いてのダンス発表、他施設が開催しているマルシェに参加しお買い物体験等、地域の方々との交流の機会を多く設けている。また、フットサル活動ではボランティアの方々と一緒にチームを組んで練習や大会に参加している。	ボランティアさんとの活動や地域イベントへの参加が継続できるよう、定期的な交流を行い、関係の維持・発展に努めている。	大人数や初めての場所が不安な利用者様に対し、見学や部分参加などを取り入れ、無理のない形で段階的に参加できるよう活動内容を検討する。
3	高等部卒業後を見据えた活動を提供している。法人内の就労施設への見学体験を取り入れ、実習や就労のイメージを持つ機会を提供している。	プログラムで「作業訓練」を行い、物の仕上げやタオル畳みなど実習や就労に活かせる活動を提供している。職員も卒後を見据えた個別支援計画の立案や活動提供ができるよう、法人内の就労施設を訪問し、働いているご利用者様の姿を見たりサービス管理責任者のお話を伺う機会を作っている。	ご家族に見学体験での様子を発信し、卒後を見据えた課題を共有する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、きょうだい同士の交流の機会が少ない。	フットサル大会やお祭りでのダンス発表に見学に来て下さるご家族はいらっしゃるが、交流の機会を提供できていない。	ご家族の意向を確認しつつ、保護者見学やご家族参加型のプログラムを検討する。
2	地域イベントへの参加等で地域の他のこどもと交流する機会があるが、ご家族へ伝えることができていない。	ポッチャ大会やフットサル大会への参加などで地域の他のこどもと交流をしているが、ご家族への発信が弱い。	地域の他のこどもとの交流があった際、SNSや事業所の広報誌を利用して積極的に発信を行う。
3	活動スペース内に段差や階段があり、ご利用者様が過ごす際に危険と感じる場面がある。	限られたスペースで活動していること、ご利用者様の好む場所の関係等で、危険な場面が発生している。	階段では滞在しないように環境を構造化する。改善可能な部分是对応していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 ゆめの園みらいず川越 児童発達支援・放課後等デイサービス

公表日 2026/2/25

利用児童数 48

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	8	2	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26			6		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	7	2	6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	7	1	5		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2	1	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	5	11	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	11	3	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	31	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	15	9			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	1	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	4	1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2		12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2	2	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32					
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1				

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日 2026/2/25			
ゆめの園みらいず川越 児童発達支援・放課後等デイサービス					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		適宜2階やキッチン、園庭を使用してスペースを確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		加配加算を取得している。	複数名のご利用者が1対1での見守りが必要な状態になった際に、職員数が足りないと感じることがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	スケジュール表や迎送表を掲示し、見通しが持てる環境を作っている。 階段やトイレに手すりがある。	階段や段差が危険と感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		2階やカウンターの仕切りを活用して空間を分けている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		2階フロアでは、個別・少人数で過ごすことができる。	必要に応じてパーテーションなどを使用し、個別で過ごす環境を提供する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定例会議や1on1ミーティングで、目標設定と振り返りを共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年に1度、全職員で保護者向け評価表を確認し業務改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に3度1on1ミーティングを実施し、職員の意見を業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月事業所内研修を実施。 外部研修等に参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		5領域に対応した支援プログラムを作成している。 毎月、翌々月のプログラムを公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		半年に1度保護者面談を実施し、現状と課題の共有したうえで個別支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画作成時に開催されるケース会議には児童指導員・保育士も参加し、支援内容の検討をしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画は全職員がいつでも閲覧できる環境にある。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		アセスメントは標準化された項目に沿って実施されている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに沿って設定されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月全職員から意見を募り、立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		適宜プログラム内容を更新して提供している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		ひとりひとりの課題やニーズに合わせて、個別活動を提供している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		始業時に朝礼を実施し、支援内容や役割の共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後に終礼を実施し、情報共有をしている。終礼は議事録を作成し、全職員が内容を確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々のケア記録を作成し、モニタリングの際に活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月に1度以上、モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		6か月に1度以上、個別面談を実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		主に児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		地域の歯科医院と連携し歯磨き教室の開催をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校送迎時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	新規利用者様は既に利用している事業所と情報共有をしている。	対象が中高生の為、就学前の情報共有は少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	必要に応じて、相談支援専門員等を通して情報提供している。	必要に王して情報提供する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		研修等に積極的に参加する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域のポッチャ大会やフットサル大会に参加し、地域のこどもと共に活動している。	積極的に交流の機会を設ける。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		積極的に参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の送迎時や半年に1度の面談時に情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	フットサル大会やダンス発表には、ご家族が応援に来てくださっている。	家族参加ができるプログラムを検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別支援計画作成時に、ご本人、ご家族に意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		ガイドラインに沿ってすすめている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7		保護者同士、きょうだい同士で交流する機会を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		マニュアルに沿って対応している。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月1度翌々月のプログラム公表と活動の様子を発信している。 月に2度SNS等で活動写真を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	年に1度お祭りに地域の方々を招待している。 月に2度以上、地域のボランティアの方々と共に活動している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアル等を策定し、訓練実施を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画（BCP）を策定し、訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時と6か月に1度以上の家族面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時と6か月に1度以上の家族面談時にアレルギー対応の方法を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		年に1度ご家族へ向けて発信している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット発生時に報告書を作成し、全職員で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に2度事業所内にて虐待防止研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアルを作成している。		